



人生色々あったけど
あきらめずに頑張りたい
この地域の人たちと一緒に汗を流したい

Place Juneberry

私の人生は 七転び八起きではなく
まさに“七転八倒”であった。

十代、世の中は希望に満ちていると期待に胸を躍らせた。が…大学受験の一か月前に不良とけんかし大怪我、生死の境をさまよう

二十代、東京の大学に昼間働きながら通う

三十代、家庭を持ち、企業に勤め馬車馬のように昼夜を問わず働いた…結果、過労で倒れ、様々な誤解により妻との間に大きな溝が生じ離婚…

その後は、懺悔・放浪の旅に出たり、海外に行ったり、様々な事を経験した。

若い頃から様々な地を転々としたが、一体どの位の職種を経験したろうと数えてみたら…ビックリした。おおよそ 50 位の職種を経験してきたみたいだ。

その中でも心に残っている仕事は、お寺や神社で働いた経験。その頃、自分は滝行などをしながら、一生この仕事で生きていくものと思っていた。でもまた様々な転機が訪れ、あれよあれよと転がっていく。

流れる水は腐らないという。転がる石もまた苔生えずとも言う。まだ全然角はとれていないような気もするが、最近はいよいよ人の道を覚えたかなと思う。

東峰村にやってきて思う

出来るだけ長く住みたい いやずっと住み続けたい

人が朗らかだ

野菜やコメが何ともうまい

朝夕の景色が実に美しい

昨年7月、近所の人達と話し合っ私は裏山でヤギを2頭飼う事にしました。名前はアンコとツバキ

地域のコミュニティ創出や除草に係る社会実験として始めた飼育でしたが、様々なハブニングがあり、ご近所の方々にはご心配をおかけしました。一方、ヤギを通して、色々な方との会話が出来、ヤギが人と人とのご縁をつないでくれたように感じます。毎朝、東峰学園の子ども達もバス停からヤギ達を見守ってくれています。

本格的な冬を迎え 春まだ遠し ですがこの村での暮らしを

日々大切に過ごしたいと思います。

癒鬱

浦 義勝の1ヵ月 (広報紙編集作業)

月の初め …今月号「広報」データ入稿
ホームページへの情報掲載
次号の広報紙のテーマ決め、各課への原稿依頼
編集・取材スケジュール確定
関係者への聞き取り、調査、写真依頼他
※入稿直後、次号の編集作業開始
※前倒して作業できる内容などは数ヵ月先の作業を行う

月の中旬 …冊子到着後 全戸配布、関係機関への送付作業
第1回目の各課回覧(訂正原稿の集約…全9課)

月の下旬 …第2回目の各課回覧(訂正原稿の集約…全9課+村長)
最終回覧
(企画政策課内 編集責任者による確認) →最終入稿へ

→日々の暮らしはブログ書いています!

東峰村 浦 義勝

NEW
REPORT
No.005

東峰村 地域おこし協力隊

企画政策課所属 / 広報紙・村の情報発信

浦 義勝

昭和50年9月4日生まれ
うさぎ年/おとめ座/AB型

